

平成 26 年 6 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C K グ ル ー プ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 崎 秀 則
(J A S D A Q ・ コ ー ド 番 号 2 4 9 8)
問 合 せ 先 取 締 役 森 田 信 彦
統 括 本 部 長
T E L 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

「霞橋」が平成 25 年度土木学会田中賞作品部門を受賞しました

田中賞は、昭和 41 年度より続く橋梁に関する優秀な業績に与えられる学会賞です。作品部門は、直近 2 年間に新設または改築された橋梁のうち、優れた特色を有すると認められたものに与えられます。

霞橋の架替事業では、土木遺産として歴史的価値の高い「旧江ヶ崎跨線橋」のオリジナルの部材を極力再利用することと、特徴的な意匠を活かすことを両立させ、現在の安全基準を満たす「現役の道路橋」として再生しました。

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、平成 21 年度から 24 年度までの 4 年間、学識経験者と調整を図りながら旧江ヶ崎跨線橋再利用方針の立案、材料試験を踏まえた現行基準と整合した構造設計、具体的な接合構造等の詳細設計、取付け道路空間を含むトータルデザインを手がけました。現行の基準に適合した道路橋として関東大震災や第二次世界大戦を乗り越えた明治期の高い技術と様式を今に伝える構造物であり、これらの技術は、今後の橋梁技術の発展に大きく寄与するものと考えられることから、土木学会田中賞に値するものと認められ受賞しました。

私たちは、後世に歴史をつなぐ責任を担う一員として、技術的・社会的な価値をもつ遺産の保全・利活用にこれからも挑み続けてまいります。

以 上



※旧江ヶ崎跨線橋プラットラス：

1896（明治 29）年に架橋された日本鉄道土浦線（現常磐線）隅田川橋梁。その後、1929（昭和 4）年に新鶴見操車場へ移設され、2010（平成 22）年に撤去。明治中期の最大級のトラス橋。

<当社発表論文>

- ・「117 年前に造られたプラットラスの再生工事の紹介—隅田川橋梁から江ヶ崎跨線橋を経て霞橋—」
土木史研究講演集 Vol.33 2013、上野淳人・大波修二・三谷祐一郎他
- ・「117 年前に造られたプラットラスの再生—隅田川橋梁から江ヶ崎跨線橋を経て霞橋—」
橋梁と基礎 vol47、2013.6、上野淳人・大波修二・他
- ・「土木遺産の移設再生事業『横浜市霞橋』のデザインと広報戦略」
土木学会第 68 回年次講演会概要集、大波修二・渡部理恵他

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL: <http://www.oriconsul.com/>

本社・統括本部 三百田、伊藤